

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

| | |
|----------------------------------|----------------------|
| 講座名・職名 Course Title・Job Title | 日本語日本文化教育センター 准教授 |
| 氏名 Name | 大和祐子 |
| 専門分野 Academic Field | 日本語教育学 |

平成 30 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2018 (Post on Website)

| | | | | | |
|--|-----------------------------|----------------|-----------|------|----------|
| 主たる研究テーマ Principal Research Subject | 非漢字圏学習者の漢字語彙学習の成功に影響する要因の解明 | | | | |
| 研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan (Approximately 100 Words) 今年度は、昨年度までに収集した実験データを用い、分析および成果発表を行う。まず、非漢字圏学習者と漢字圏学習者の二字漢字語の書字認知実験の結果をまとめ、8 月に言語学会第 20 回国際年次大会（JSL2018）で報告し、論文にまとめる。また、非漢字圏学習者の語彙知識上位群と下位群で書字認知の特徴が異なるのか、漢字 1 文字の正誤判断課題および二字漢字語の語彙性判断課題の結果を比較し、非漢字圏学習者の漢字の文字認知及び二字漢字語の書字認知の発達について検討する。分析の結果は、タイ国日本研究国際シンポジウム 2018（JST2018）で報告し、論文にまとめる。さらに、非漢字圏学習者の漢字処理に対する語彙知識、文字正誤判断の効率性と非漢字圏学習者の使用する漢字学習ストラテジーとの関連性についても検討する。非漢字圏学習者全般にみられる漢字学習ストラテジーの特徴は何か、漢字認知の正答率が高い学習者とそうではない学習者とでは用いる漢字学習ストラテジーが異なるのか、について明らかにする予定である。 | | | | | |
| 共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1 | 日本語教育学 | 言語学 (心理言語学) | 外国語教育学 | 日本語学 | 教育心理学 |
| キーワード Keywords*2 | 日本語教育 | 漢字語彙取得 | メンタルレキシコン | 認知処理 | 学習ストラテジー |